

体感！ パークレンジャー 第2回 支笏湖の音の風景を紹介しよう！

10月20日(月)、第2回目の『体感！パークレンジャー』に、千歳市北栄小学校6年生の皆さん47名が参加しました。ここ支笏洞爺国立公園には毎年世界中から観光客が訪れます。そこで、支笏湖や湖周辺の自然の素晴らしさを、音を通して世界中の人にもっと知ってもらおう、というのが今回のテーマです。湖のまわりで支笏湖の音を録音し、ナレーションをつけます。出発前のビジターセンターでは、各グループとも湖周辺の地図を見ながらルートの相談。秋も終りの支笏湖、雨がやむのを待ちながらレクチャールームで支笏湖を紹介するビデオや展示物を見たり、これから出会う音の風景に想像をふくらませています。それではレンジャーと一緒にしゅっぱーつ！



支笏湖の「音」

さて、音探しはグループ同士の協力が必要です。「しーっ！」大声を出すと野鳥は逃げ、小さな音は聞こえませんし、録音もできません。枯れ葉を踏む、湖に石が落ちる、湖と川がまじり、風が走る、雨のしずくが地面にはねる、鳥の羽音…耳を澄ますと普段聞こえなかった音が溢れていました。その中から5つの音をボイスレコーダーやデジタルカメラを使って録音します。想像していたのとちょっと違う音だなあ？フィールドには新発見と再発見もたくさん。その時に感じた思いも忘れずにメモします。



ゴ-!



どれにする？

音の作品にする

ビジターセンターに戻って作品づくりです。それぞれの支笏湖を一つの作品に仕上げましょう。グループごとに相談して、集めた音の中でも一番ステキな音の一つだけ選びます。そして、その音を集めた時に感じた印象や感想を話し合い、音を紹介する文章「ナレーション」にまとめます。発表の時、ナレーションに続いて流れるさまざまな音。目を閉じると支笏湖の豊かな自然が目に浮かんで見えます。見るだけは気がつかないすてきな支笏湖の「顔」がたくさんありました。みなさんのにとっておきの支笏湖の音は、どんな音ですか？



千歳市北栄小学校
6年生47名と先生2名
の音の風景ができました

